

第94回岐阜大学経営協議会 議事要旨

- 1 日 時 令和2年3月24日(火) 13時00分～14時10分
- 2 場 所 岐阜大学本部大会議室
- 3 出席者 森脇(議長), 伊藤, 稲垣, 碓井, 大松, 小川, 櫻井, 村瀬, 福井, 江馬, 野々村, 鈴木, 大藤, 吉田, 林, 王の各委員
オブザーバー:
別府教育学部長, 富樫地域科学部長, 岩間医学系研究科長, 村井工学部長, 杉山応用生物科学部長, 吉田監事, 片桐監事

議事に先立ち, 議長から, 今回の経営協議会は, 事前に案内したとおり, 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため, 議事を絞り込んだ上で, 時間を短縮して開催することを予め了承いただきたいとの依頼があった。

4 議事要旨の確認について

第92, 93回の経営協議会議事要旨(案)を原案どおり確認した。

5 審議事項

(1) 社会システム経営学環設置計画案について

福井委員から, 資料1に基づき, 学部等連係課程制度を活用した社会システム経営学環設置計画案について説明があり, 審議の結果, 了承され, 3月26日(木)開催の役員会に附議することとされた。

主な意見等は次のとおり。(○:質問・意見 ●:回答)

- 入学定員の30人は, 従来の定員を削減するということか。
- 教育学部の入学定員を削減し, 社会システム経営学環に充てる。
- 設置に向けてこれまで検討してきた経営学部を作るという理解で良いか。
- それに準じた設置計画である。
- 地方の大学における経営学のニーズは高いと思う。地域に根差した経営学を目指すことは良い取り組みであり, 学部等連係制度の活用は全国初とのことなので, ぜひ成功させてほしい。

(2) 東海国立大学機構における令和2年度計画(案)について

福井委員から, 資料2に基づき, 第3期中期目標・中期計画を踏まえて東海国立大学機構における令和2年度計画(案)を策定した旨の説明があり, 審議の結果, 了承され, 3月26日(木)開催の教育研究評議会及び役員会に附議することとされた。

主な意見等は次のとおり。(○:質問・意見 ●:回答)

- 第4期中期目標期間の年度計画についても, 第3期と同様, 東海国立大学機構の全体と各大学の計画を組み合わせた構成になるのか。
- そのような構成になる。

(3) 令和2年度学内予算(案)について

大藤委員から、資料3に基づき、令和2年度学内予算(案)について、予算編成方針、学内収入予算の概要、学内支出予算の概要等の説明があり、審議の結果、了承され、3月26日(木)開催の教育研究評議会及び役員会に附議することとされた。

6 報告事項

(1) 令和元年度実施大学機関別認証評価報告書について

福井委員から、資料4に基づき、令和元年度実施大学機関別認証評価報告書について、「教育研究等の総合的な状況は、大学改革支援・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定されたことの報告があった。また、一部の基準に関して、改善する必要があるとの指摘を受けたこと、さらには、当該指摘へ対応した上で、その内容を大学ホームページに公表したとの報告があった。

(2) 令和2年度岐阜大学一般入試(前期日程、後期日程)志願者数等について

江馬委員から、資料5に基づき、令和2年度岐阜大学一般入試志願状況及び実施状況について報告があり、過年度のデータの推移から、志願者、受験者数が減少傾向にあることから、今後の動向に注視したい旨の説明があった。

(3) 医学部附属病院の経営状況について

吉田委員から、資料6に基づき、医学部附属病院の令和元年度経営目標達成率について、損益計算書及び収支計算書に基づき報告があった。

(4) 手術棟の整備について

吉田委員から、資料7に基づき、医学部附属病院における手術棟及び事業者提案施設整備運営等事業について、企画・競争による公募を経て、優先交渉権者を決定したことの報告があった。

(5) 新型コロナウイルス感染症に係る対応について

大藤委員から、机上配付資料に基づき、新型コロナウイルス感染症に係る対応について、会議当日時点での対応状況(学位記授与式、入学式、前学期の講義の実施等)について報告があった。

(6) 東海国立大学機構について

議長から、資料8に基づき、東海国立大学機構の審議組織(役員、運営会議)の構成(予定者)について報告があった。

(7) 次期学部長等について

議長から、資料9に基づき、令和2年4月1日からの次期学部長等就任予定者について説明があった。

7 その他

(1) 外部委員からの挨拶

議長から、国立大学法人岐阜大学として最後となる経営協議会となるため、出席した外部委員から、経営協議会委員を務めた感想や、新法人に対する提言等をいただきたい旨依頼があり、各外部委員からそれぞれ発言があった。発言後、議長から、数々の助言に対する謝辞が述べられた。

主な提言等は次のとおり。(○：外部委員発言)

- 岐阜市の教育への力添えも継続してほしい。
- 岐阜薬科大学はこちらの土地への統合を控えている。また、岐阜市がこの地域をライフサイエンス拠点としてさらに発展させる構想を持っていることもあり、今後も引き続き力添えをお願いしたい。
- 東海国立大学機構の成否は全国の関係者が注目しており、モデルケースになるだろう。今後も大風呂敷を広げて、地域の知の拠点として発展いただきたい。
- 教育・研究を行政や産業界と一体となって進めてきたことを、東海国立大学機構になっても継続いただきたい。
- 文部科学省は、地域か世界か、という切り分けをしているが、岐阜大学の一部は世界に突出した分野が出てきて欲しい。
- 地域の中で、優秀な学生を輩出し続けていただきたい。
- 社会に出ると、経済界は月次や日々の売上、マーケットの動きに左右され、将来を考える機会がない。フューチャーデザインという考え方を大学は持っているので、若い人材の養成機能をさらに高めていただきたい。